

## 中学校音楽科における歌唱の活動制限に対応する指導事例集

教育芸術社 第一編集部

この指導事例は、下記の考え方に基づいて作成しています。

1. 学校再開後、授業において「大きな声を出さない」ことが求められる場合の歌唱の指導事例です。他の歌唱教材を取り上げる際もこの事例を参考に指導計画を作成されるとよいでしょう。
2. 教師用指導書研究編の「学習の流れ」に沿った活動対策案（例）を右側に示しています。変更部分には下線，割愛する部分には取り消し線を付けてあります。
3. ここでは「口を閉じてハミングで歌う活動」を含めています。ただしその場合、生徒どうしの間隔を十分に空けるなど、感染防止対策も合わせて行うようにするとよいでしょう。
4. 実際に声を出して歌うことなく、歌唱の学習内容を十分理解したり技能を身に付けたりすることは困難なため、本来の歌唱の授業の完全な代替案として、この指導事例を示しているものではありません。あくまでも**感染拡大を防止するための特別な対策**であることをご承知おきください。
5. ここに示したことに加えて、学校の授業以外での学習として個人で歌うことを補完的に行うとよいでしょう。その際は、教育芸術社のホームページにある「自宅学習支援コンテンツ」の活用もお勧めします。

1年生の事例 「We'll Find The Way～はるかな道へ」(教科書 p.4／教師用指導書研究編 p.11)

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】	活動対策案 ○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●歌詞の内容や曲想に関心をもつ。</p>	<p>○範唱を聴く。</p> <p>○音のつながり方や音高に気を付けながら階名で歌う（階名唱が難しい場合は“ラ”で歌う）。</p> <p>○伴奏や他の人の声をよく聴く。</p> <p>○「My Voice」（教科書p. 8）を参考に、自分自身の歌声を確認し、呼吸法を身に付ける。</p> <p>○歌詞に込められた思いや、曲想を生かした歌い方について自由に話し合う。</p> <p>○自分の歌声や呼吸法を意識して歌詞で歌う。</p> <p>◆関：歌詞の内容や曲想に関心をもっている。【観察】</p>	<p>○範唱を聴く。</p> <p>○旋律やリズムに気を付けながら<u>ハミング</u>で歌ったりリズム打ちをしたりする。</p> <p>○伴奏や他の人の声をよく聴く。</p> <p>○「My Voice」（教科書p. 8）を参考に、自分自身の歌声（<u>ハミング</u>）を確認し、呼吸法を身に付ける。</p> <p>○歌詞に込められた思いや、曲想を生かした歌い方について、<u>ワークシート</u>や<u>付箋紙</u>に記入し、<u>書画カメラ</u>や<u>ミニボード</u>を活用するなどして大きな声を出すことを避けながら話し合う。</p> <p>○自分の歌声や呼吸法を意識して<u>ハミング</u>で歌ったりリズム打ちをしたりする。</p> <p>◆関：歌詞の内容や曲想に関心をもっている。【観察】</p>
<p>●拍の流れ、音のつながり方、フレーズを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫する。</p>	<p>○歌いながら体を動かしたり指揮をしたりして、拍の流れ、音のつながり方、フレーズを感じ取る。</p> <p>○教科書p. 76を参考に、2分休符や拍子記号を確認する。</p> <p>○歌詞からイメージを広げ、感じ取ったことを発表する。</p> <p>○後半の二部合唱の部分の、歌詞の内容や拍の流れを生かした音楽表現について話し合い、歌って試す。</p>	<p>○<u>ハミング</u>で歌いながら体を動かしたり指揮をしたりして、拍の流れ、音のつながり方、フレーズを感じ取る。</p> <p>○教科書p. 76を参考に、2分休符や拍子記号を確認する。</p> <p>○歌詞からイメージを広げ、感じ取ったことを<u>ワークシート</u>や<u>付箋紙</u>に記入し、<u>書画カメラ</u>や<u>ミニボード</u>を活用するなどして発表する。</p> <p>○後半の二部合唱の部分の、歌詞の内容や拍の流れを生かした音楽表現について、<u>付箋紙</u>や<u>ミニボード</u>を使って大きな声を出すことを避けながら意見交流し、<u>ハミング</u>で歌ったりリズム打ちをしたりして試す。</p>

<p>●どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p>	<p>○工夫したことや練習が必要なことなど、どのように歌うかについて自分の考えをワークシートに記入し、発表する。</p> <p>◆創①【観察，ワークシート】</p>	<p>○工夫したことや練習が必要なことなど、どのように歌うかについて自分の考えをワークシートや付箋紙に記入し、<u>書画カメラやミニボードを活用するなどして発表する。</u></p> <p>◆創①【観察，ワークシート】</p>
<p>●歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組む。</p> <p>●歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌う。</p>	<p>○前時の学習内容を思い出し、歌詞の内容や曲想を意識して歌う。</p> <p>○どのように歌うかについての自分の考えや、特に音楽表現を工夫するポイントを発表し合い、話し合う。</p> <p>○話し合ったことを基に、歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現となるようクラス全体や個人で、発声、言葉の発音、呼吸法などの歌い方をいろいろと試す。</p> <p>○発声、言葉の発音、呼吸法などの歌い方を試して気付いたことを意見交流する。</p> <p>○学習内容を振り返り、これまでの学習を生かして、2人あるいは全体で歌う。</p> <p>◆関①【観察，ワークシート】</p> <p>◆技①【演奏】</p>	<p>○前時の学習内容を思い出し、歌詞の内容や曲想を意識して<u>ハミングで歌ったりリズム打ちをしたりする。</u></p> <p>○どのように歌うかについての自分の考えや、特に音楽表現を工夫するポイントをワークシートや付箋紙に記入し、<u>書画カメラやミニボードを活用するなどして大きな声を出すことを避けながら発表し合い、話し合う。</u></p> <p>○話し合ったことを基に、歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現となるようクラス全体や個人で、発声、<u>言葉の発音</u>、呼吸法などの歌い方を、<u>ハミングやリズム打ち</u>でいろいろと試す。</p> <p>○発声、<u>言葉の発音</u>、呼吸法などの歌い方を試して気付いたことを付箋紙やミニボードを使って大きな声を出すことを避けながら意見交流する。</p> <p>○学習内容を振り返り、これまでの学習を生かして、2人あるいは全体で<u>ハミングで歌ったりリズム打ちをしたりする。</u></p> <p>◆【関①：観察，ワークシート】</p> <p>◆【技①：演奏】</p>

## 2年生の事例「夢の世界を」(教科書 p.4／教師用指導書研究編 p.11)

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】	活動対策案 ○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●歌詞の内容や曲想に関心をもつ。</p>	<p>○範唱を聴いて、1番と2番を歌う。</p> <p>○歌詞の表す情景や心情について自由に話し合う。</p> <p>○前半[A]と後半[B]の違いについて気付いたことや感じたことをワークシートに記入し、発表する（生徒の発言は整理して板書し、共有する）。</p> <p>○前半[A]と後半[B]の違いを意識して歌う。</p> <p>◆関：歌詞の内容や曲想に関心をもっている。【観察、ワークシート】</p>	<p>○範唱を聴いて、1番と2番をハミングで歌ったりリズム打ちをしたりする。</p> <p>○歌詞の表す情景や心情についてワークシートや付箋紙に記入し、書画カメラやミニボードを活用するなどして大きな声を出すことを避けながら話し合う。</p> <p>○前半[A]と後半[B]の違いについて気付いたことや感じたことをワークシートに記入し、書画カメラやミニボードを活用するなどして発表する（生徒の発言は整理して板書し、共有する）。</p> <p>○前半[A]と後半[B]の違いを意識してハミングで歌ったりリズム打ちをしたりする。</p> <p>◆関：歌詞の内容や曲想に関心をもっている。【観察、ワークシート】</p>
<p>●8分の6拍子、斉唱と混声三部合唱のテクスチュア、二部形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じる。</p> <p>●知覚・感受しながら、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫する。</p>	<p>○歌いながら体を動かしたり指揮をしたりして8分の6拍子の特徴をとらえる。</p> <p>○前半[A]の斉唱と後半[B]の混声三部合唱の響きを歌ったり聴いたりして比較し、聴き取ったり感じ取ったりしたことを意見交流する。</p> <p>○リズム、テクスチュア、形式に注目し、作曲者はなぜこのように作曲したのかをグループで考え、発表し合う。</p>	<p>○ハミングで歌いながら体を動かしたり指揮をしたりして8分の6拍子の特徴をとらえる。</p> <p>○前半[A]の斉唱と後半[B]の混声三部合唱の響きをハミングで歌ったり聴いたりして比較し、聴き取ったり感じ取ったりしたことを付箋紙やミニボードを使って大きな声を出すことを避けながら意見交流する。</p> <p>○リズム、テクスチュア、形式に注目し、作曲者はなぜこのように作曲したのかを個人で考え、ワークシートや付箋紙に記入し、書画カメラやミニボードを活用するなどして大きな声を出すことを避けながら話し合う。</p>

<p>●どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p>	<p>○歌いながら曲にふさわしい音楽表現を工夫する。</p> <p>○どのように歌うかについての自分の考えや、特に表現を工夫するポイントとその理由をワークシートに記入し、発表する。</p> <p>◆創①【ワークシート】</p>	<p>○<u>ハミング</u>で歌ったりリズム打ちをしたりしながら、曲にふさわしい音楽表現を工夫する。</p> <p>○どのように歌うかについての自分の考えや、特に表現を工夫するポイントとその理由をワークシートに記入し、<u>書画カメラ</u>や<u>ミニボード</u>を活用するなどして発表する。</p> <p>◆創①【ワークシート】</p>
<p>●歌詞の内容や曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組む。</p> <p>●歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌う。</p>	<p>○曲にふさわしい音楽表現となるように、クラス全体やグループや個人で、発声、言葉の発音、呼吸法などの歌い方をいろいろと試す。</p> <p>○これまでの学習を生かして、グループあるいは1人で歌う。</p> <p>○ワークシートを見ながら学習内容を振り返る。</p> <p>○学習内容を意識してクラス全体で歌う。</p> <p>◆関①【観察、ワークシート】</p> <p>◆技①【演奏】</p>	<p>○曲にふさわしい音楽表現となるように、クラス全体や<u>グループ</u>や個人で、発声、<del>言葉の発音</del>、呼吸法などの歌い方を、<u>ハミング</u>や<u>リズム打ち</u>でいろいろと試す。</p> <p>○これまでの学習を生かして、グループあるいは1人で<u>ハミング</u>で歌ったりリズム打ちをしたりする。</p> <p>○ワークシートを見ながら学習内容を振り返る。</p> <p>○学習内容を意識してクラス全体で<u>ハミング</u>で歌ったりリズム打ちをしたりする。</p> <p>◆関①【観察、ワークシート】</p> <p>◆技①【演奏】</p>

### 3年生の事例 「花」(教科書 p.4/教師用指導書研究編 p.11)

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】	活動対策案 ○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●歌詞の内容や曲想に関心をもつ。</p>	<p>○範唱を聴き，主旋律をとらえる。</p> <p>○歌詞を音読するなどして内容を理解し，情景を想像する。</p> <p>○担当するパートを決め，二部合唱ができるようにパート練習する。</p> <p>○歌詞の表す内容と強弱とのかかわりを意識しながら，通して二部合唱をする。</p> <p>◆関：歌詞の内容や曲想に関心をもっている。【観察】</p>	<p>○範唱を聴き，主旋律をとらえる。</p> <p>○歌詞を<u>黙読</u>するなどして内容を理解し，情景を想像する。</p> <p>○担当するパートを決め，二部合唱ができるように<u>ハミング</u>でパート練習する。</p> <p>○歌詞の表す内容と強弱とのかかわりを意識しながら，通して<u>ハミング</u>で二部合唱をしたり，リズム打ちをしたりし、どのように歌うかについて<u>思いや意図をワークシートに記入する。</u></p> <p>◆関：歌詞の内容や曲想に関心をもっている。【観察・ワークシート】 (観察のみでは見取りにくい場合、ワークシートも併用する)</p>
<p>●音のつながり方，フレーズ，速度，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p> <p>●歌詞の内容や曲想に関心もち，曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的</p>	<p>○2，3番について，1番と旋律やリズムの違うところを確認し，音符や休符の効果などを感じ取りながら歌う。</p> <p>○3番の歌詞で，作詞者の感動が書かれているところと旋律との関係を考え，どのように表現すると作詞者の思いや意図を伝えられるのかについて意見交流する。</p> <p>○意見交流した内容を歌いながら確認して，さらに表現を工夫する。</p> <p>○3番の最後の“ながめを何にたとうべき”の歌</p>	<p>○2，3番について，1番と旋律やリズムの違うところを確認し，音符や休符の効果などを感じ取りながら<u>ハミング</u>で歌ったりリズム打ちをしたりする。</p> <p>○3番の歌詞で，作詞者の感動が書かれているところと旋律との関係を考え，どのように表現すると作詞者の思いや意図を伝えられるのかについて<u>付箋紙やミニボードを使って大きな声を出すことを避けながら意見交流し、どのように歌うかについて思いや意図をワークシートに記入する。</u></p> <p>○意見交流した内容を<u>ハミング</u>で歌ったりリズム打ちをしたりしながら確認して，さらに表現を工夫する。</p> <p>○3番の最後の“ながめを何にたとうべき”の歌詞の内容と速度設定</p>

<p>に取り組む。</p> <p>●歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌う。</p>	<p>詞の内容と速度設定に着目し、表現を工夫する。</p> <p>○旋律のまとまりや反復、言葉と音楽との関係、歌詞の内容に応じた強弱の設定などを理解して、楽曲の形式をとらえながら、まとめの二部合唱をする。</p> <p>◆創①【観察】</p> <p>◆関①【観察】</p> <p>◆技①【演奏】</p>	<p>に着目し、<u>ハミングで歌ったりリズム打ちをしたりしながら表現を工夫する。</u></p> <p>○旋律のまとまりや反復、言葉と音楽との関係、歌詞の内容に応じた強弱の設定などを理解して、楽曲の形式をとらえながら、<u>ハミングでまとめの二部合唱をしたり、まとめのリズム打ちをしたりする。</u></p> <p>○題材の学習の振り返りを、ワークシートに記入する。</p> <p>◆創①【観察・ワークシート】（観察のみでは見取りにくい場合、ワークシートも併用する）</p> <p>◆関①【観察・ワークシート】（観察のみでは見取りにくい場合、ワークシートも併用する）</p> <p>◆技①【演奏】</p>
--	---	---